

それでは、最後の質問に移ります。

新居浜市弓道場について。

弓道場は、平成5年3月完成の文化振興会館の建設に合わせ、文化振興会館のあった場所から現在の場所、徳常町4番15号に仮の施設として建設されており、現在に至っております。現在、当協会の会員は70名ほどとなっており、現在の施設では手狭な上、全日本弓道連盟の競技規則に準じた試合等の運行も難しい状況となっています。また、更衣室やトイレもなく、大変不便な状況で、耐用年数もあと3年ほどしかないと同っています。

新居浜市内の高校からも講習会を行ってほしいとの要望もありますが、現状の施設では講習会を行うこともできない状況が続いています。毎年10月には弓道教室をスタートして、新規の会員も増えています。全国大会に出場した選手もおりますが、遠的競技は松山の県営弓道場へ行かないと練習ができない状況です。

弓道は、他の競技と異なり、人ではなく、的を相手にする武道、スポーツです。それぞれが自分の体力に応じた強さの弓を使い、練習を始めることができます。素朴で親しみやすく、少年少女から御年配の方まで行うことができ、年齢や男女の制限はありません。

愛媛県八幡浜市では、廃校となった小学校跡地を利用して、令和7年度に新たな弓道場が完成されたと伺いました。一方、新居浜市の総合運動公園計画では、近的及び遠的場を合わせた弓道場を建設する計画となっておりますが、総合運動公園計画が見合せとなっております。耐用年数が近づいている現在の仮の弓道場から、新たな弓道場の建設を待ち望む声を多くの関係者の皆様からお伺いをしています。

新居浜市では小学校の再編を計画されていると認識しています。旧若宮小学校をワクリエとして利用したように、八幡浜市を参考に、今後、統廃合による廃校予定の小学校に新しく弓道場を建設するなどの整備についてのお考えはありませんか、御所見をお伺いいたします。

○副議長（篠原茂） 答弁を求めます。守谷企画部文化スポーツ局長。

○企画部文化スポーツ局長（守谷典隆）（登壇）新居浜市弓道場についてお答えいたします。

新居浜市弓道場につきましては、建設後約32年が経過し、これまで防矢ネットやフェンスの設置など安全対策を講じるとともに、老朽化した箇所への修繕などによる維持管理に努めてまいりました。御案内のとおり、本市の財政状況や人口減少など社会情勢の変化を踏まえ、総合運動公園に関しては計画を見合わせているところでございます。

弓道場をはじめとする体育施設においては、使用目標年数が近づいているものを直ちに建て替えることは難しく、今後も可能な限り改修や修繕による長寿命化を図ってまいりたいと考えております。

体育施設の更新につきましては、公共施設再編計画等との整合性を十分に考慮しつつ、施設ごとの方針を検討してまいります。その一環として、学校跡地を活用した弓道場の建設については、先進事例も参考にしながら、慎重に検討を進めてまいります。

○副議長（篠原茂） 再質問はあり

ませんか。高塚広義議員。

○19番（高塚広義）（登壇） 1
点再質問いたします。

現状の弓道場には今現在、多くの女性も参加し、練習や試合に向け活動されていますが、先ほど言いましたように、更衣室、またトイレがない状況で非常に困っていると伺っております。早急に何らかの対策が必要と考えますが、お考えがありましたらお伺いいたします。

○副議長（篠原茂） 答弁を求めます。守谷企画部文化スポーツ局長。

○企画部文化スポーツ局長（守谷典隆）（登壇） 高塚議員さんの再質問にお答えいたします。

女性とかの利用が多い中で、更衣室やトイレがないといった不便な点を早急に対応ということでございますけれども、今現状、文化振興会館なども利用していただいていると思います。高塚議員さんの御質問の中にもありましたように、仮でみたいなところで整備したところもあるんですけども、なかなか敷地も限られてる中で、その中での整備というのは困難でございますので、文化振興会館の使い方も柔軟に対応しながら対応してまいりたい、このように考えております。

○副議長（篠原茂） 再質問はありますか。高塚広義議員。

○19番（高塚広義）（登壇） ぜひ前向きに、また検討をよろしくお願ひいたします。

今後とも、先ほどもいろんな現場からの要望もございまして、こういう一般質問という形で結びつけていきたいと思ひます。今後とも、現場に足を運びながら、市民との対話を通して、皆様の御意見、御要望を新居浜市政に届けてまいる決意でございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

以上で質問を終わります。